



かづを向けて初めて気がいたり 両親がお互いを思い合っているということ。

**母、87歳、認知症。
父、95歳、初めての家事。**

広島県呉市。この街で生まれ育った「私」(監督・信友直子)は、ドキュメンタリー制作に携わるテレビディレクター。18歳で大学進学のために上京して以来、40年近く東京暮らしを続けている。結婚もせず仕事に没頭するひとり娘を、両親は遠くから静かに見守っている。

そんな「私」に45歳の時、乳がんが見つかる。めそめそしてばかりの娘を、ユーモアたっぷりの愛情で支える母。母の助けて人生最大の危機を乗り越えた「私」は、父と母の記録を撮り始める。だが、ファインダーを通して、「私」は少しづつ母の変化に気づき始めた…

病気に直面し苦悩する母。95歳で初めてリンゴの皮をむく父。仕事を捨て実家に

帰る決心がつかず揺れる「私」に父は言う。「(介護は)わしがやる。あんたはあんたの仕事をせい」。そして「私」は、両親の記録を撮ることが自分の使命だと思い始め—

大反響のテレビドキュメンタリー、 待望の映画化。

娘である「私」の視点から、認知症の患者を抱えた家族の内側を丹念に描いたドキュメンタリー。2016年9月にフジテレビ／関西テレビ「Mr.サンデー」で2週にわたり特集され、大反響を呼んだ。その後、継続取材を行い、2017年10月にBSフジで放送されると、視聴者から再放送の希望が殺到。本作は、その番組をもとに、追加取材と再編集を行った完全版である。娘として手をさしのべつつも、制作者としてのまなざしを愛する両親にまっすぐに向けた意欲作。

港町呉は坂の多い町でもあります。買い物するにも一苦労。結婚以来、父と母はずっとここで暮らしてきました。



ひとり娘
ドキュメンタリー監督
信友直子

1961年広島県呉市生まれ。東京大学卒業。在京キー局で数多くのドキュメンタリー番組を手掛ける。放送文化基金賞奨励賞、ニューヨークフェスティバル銀賞、ギャラクシー賞奨励賞など受賞多数。



涙涙。椅子から立てないくらいの衝撃でした。(56歳女性)

いまだに涙がとまりません。
思いやりが人生を豊かにすること。
忘れずに生きていきたいです。(49歳女性)

まるでお家にお邪魔しているように。
心がキュートと苦しくなったり、
ぼっ、と心が温かくなったり。(29歳女性)

お三方の声のなんと優しいこと。
こんな優しさに満ちた声の響きを
聞いたことはありませんでした。(74歳男性)

番組にいただいた
感想の一部です

考えさせられます。夫婦とは家族とは老いるとは…
娘さんの泣きながらの撮影にもらい泣きしました。(55歳女性)

2024年・第1回常陸大宮名画鑑賞会

PassMarket

*デジタルチケットは、
下記の二次元コードで
購入できます

2024年5月18日(土) 常陸大宮文化センター口ゼホール・小ホール

◆【上映時間】①午前10時30分～ ②午後2時～ ③午後6時30分～

◆【鑑賞料金】前売券1,200円(税込)(当日券／一般:1,500円、小・中・高生:800円)

※チラシ持参で一般当日券1,300円に割引 【開場各30分前・上映時間102分・字幕付】

◆【前売券取扱所】口ゼホール・山田文具大宮店(大宮駅前)・お弁当のふじた(東富)・御前山饅頭ひやま(野口)・お休み処ボボ(若林)・デジタルチケット ◆開催協力◆ 大宮よい映画をひろめる会、おおみや平和の会、新日本婦人の会常陸大宮支部

◆主催・電話予約先◆ 茨城映画センター ☎ 029-226-3156 (土・日を除く10:00～17:00迄)

「茨城映画センター事業継続支援共通前売券」「はばたき友の会招待券」をご利用いただけます。

